

# 心 碩

可 行 認 発 会 風 学 院 学 吟 詩 日 本 法 人 社 団 神 奈 川

4年 5月 現在 会員 数名	4年 5月 号行 (238号)
返子地区 返子地区 返子地区 返子地区 返子地区	根 編 岸 集 岳 者
(合計) (465)	中 村 岳 者 愛

## たわごと

堀内支部・D 鈴木静山

わたしは、毎週二回将棋を指しに返子に行きます。老人ボケ予防ではありません。将棋が大好きだから行くのです。週に一回詩吟を習いに堀内のD教室に行きます。詩吟が好きでたまらないからで、健康保持増進など、二股かけてはおりません。

詩吟にはわたしを魅了する二大要点があります。詩吟の出発点は漢詩にあるようです。短かく凝縮された詩文の中に、絶妙に感情の動きを秘めた漢文学。又短音階的構成で符付けされた美しい旋律。これには喜怒哀楽激情沈静、感情の世界は悉く表現自在の日本音楽。画面併せもっていると思います。

詩吟の楽器は、ご自分の声帯ですね。人の声は美しいと思います。それを最も感じさせるのは合吟です。いろいろの声がミックスされて、無意識に作られるハーモニーは、洋楽とは異う味わい深さを感じるので。高く澄んだ声だけが美しいと思ひこんだ反省があります。強烈なリズムに乗って、ダミ声を精

っぱい張り上げて歌う黒人歌手のジャズ音楽は、カラオケの艶歌と並ぶ楽器店のドル箱。人の声の美しさは相対的なものと、己の低声を励ましている次第。

わたしのきょうだい門生は六人。その中でわたしは黒一点。女性は男性に対して、多分に魔物性があることは亡妻で学びましたが、それでも火曜日の時になると、いそいそと中村教室にやってくる。これおめでたいのでしょうか。

わたしは、昨秋五段の許証をいたゞきました。七十九才で五段。大学生が中学修学証書をいたゞいたようなアンバランスの形。でも実力との釣合いはこれでよいと納得。今頃になって最も好める道に、良師に恵まれ、めぐり合ったのは得がたき幸運。この先生、時折ご主人とおのろけを門生の前でぬけぬけと言っている天眞爛漫ぶり。明るい教室です。

## 全国選抜者吟道大会に出場

一色A支部鈴木葉風さんが、来る7月12日(旧九段会館に於ける右大会)に出場されます。碩心会(神奈川)関東地区予選会と見事通過全国大会に出場となりました。がんばって!!

## ◎ 六月行事予定

(碩心会創立55周年吟道大会)

とき・6月7日(日)9時30分より

ところ・葉山町福祉文化会館大ホール

(横須賀第二地区大会)

とき・6月14日(日)9時30分より

ところ・鎌倉中央公民館分館

(県本部青少年吟道大会)

とき・6月21日(日)

ところ・神奈川県労働総合センター

## 奥伝合格 (四月一日付)

おめでとうございます

市瀬江風 人見海風 小金智風 森 暎風  
田中景風 山下敬風 藤村千風 土井松風  
中山俊風 松井梅風 藤原華風 長島歳風  
石井成風 石井笑風

## 皆伝合格 (五月一日付)

おめでとうございます

阪本周岳 伊原松岳 田中明岳 石月翹岳  
千葉美岳 坂田昇岳 井上葉岳 宇都宮徳岳  
田中宗岳 祐野孝岳 小形雄岳 光岡光岳

## 皆伝会に出席して

戸塚支部 光岡洗岳

五月五日(こどもの日)葉山の堀内会館に於て、平成四年度、碩心会皆伝会が開催されました。当日は穏やかな鼻月晴れに恵まれて、会員106名中、67名の方々が出席いたしました。私は、新皆伝取得者として、初めて出席いたしましたので、お顔と名前が一致せず、多少の戸惑いもございましたが、自己紹介などをして、他の支部の方々とも親しくなり、会場一杯に和やかな雰囲気醸し出されました。式典では、あのにこやかな千葉岳関先生の開会の辞で始まり、中村岳愛先生の先導により「碩心会の詩」を力一杯合吟して、気分もさわやかに根岸会長の挨拶に聞き入りました。その要旨は、現在碩心会員は46名が在籍しているが、直接吟技の指導にあたる皆さんが、吟道を単なる趣味にとどまることなく、一芸に秀ずる気迫をもって、常に切磋琢磨し、指導者としてふさわしい識見を身につけ、自己の任務と責任において、会員を善導し、以つて本会の発展に寄与願いたいとの内容でした。

なお、総本部費の値上げや、皆伝以上の昇段審査規準の改正などについてもふれられ、各位の一層の努力と会員の増強を強く要望されました。

その後、相談役の三井岳瓏先生の挨拶があり、続いて皆伝新取得者の紹介、皆伝会代表幹事の紹介が終つてから議題に入りました。まず各地区長、各部長の行事報告、昨年度会計報告等が行なわれたが、特に逗子地区、葉山地区の方々の熱意と団結心には、感服した次第です。

懇談のなかで、前の席につかれた矢嶋悦岳先生は、毎週三教場を廻つて指導しているが会員の吟技が向上すればする程、自分も勉強しなければと申されて、熱意のほどがうかがわれました。

又、広報部長の中村岳愛先生は、来る七月で、月報「碩心」は24号を発刊することになるが、創刊以来二十年になるので、特集号を編集したいと、意欲を示されました。

各先生が、それぞれの立場で、卒先垂範されている姿に、ただただ頭のさがる思いでした。私は定年後、趣味や地域活動など幾つかの役務を担当し、忙がしい日々を過しています。

すが、吟道は、自から好んで入った道で、りますので、将に「忙中閑有」寸暇を借んで吟技の向上に努め、支部長を補佐して、微力ながら本会の発展のため頑張る決意でありますので、よろしく御指導をお願い致します。

式典の後、小峰岳海先生の乾杯の音頭で懇親会に移行し、民謡や演歌など、得意の喉が披露され、さすが吟道で鍛えた喉は、素晴らしく、総ての人を魅了させて頂きました。

続いて、宇都宮徳岳先生作の短歌二題が、千葉岳関先生と、木村松岳先生によって朗詠され、閉会いたしました。

最後になりましたが、本会の準備、運営等にたずさわった役員の方々に厚く御礼申し上げます。

宇都宮徳岳

(皆伝位に登りて)

日が暮れて漸く登る下の岳  
行くて遙かに上岳の見ゆ

(皆伝会員の心構え)

皆伝会碩心会のバックボン

そんな自覚で努め励まむ

練吟

メモ

### 漢詩テスト

○ 絶句 杜甫

江碧にして鳥いよいよ白く  
山青くして花然えんと欲す

今春看す又過ぐ

何れの日か是れ帰年ならん

(一部現代表記とす。教本三・69)

○「語釈」(教本にないので参考までに)

◇題名の「絶句」「無題」と同じようなもの。  
◇江 長江をいう。今の揚子江。  
◇碧 おおみどり。  
◇然えんと欲す。 然は燃の本字。燃え出さんばかりである。  
◇看す みる  
みるうちに。 ◇ 帰年 故郷に帰ることのできる年。

○問題 (大学入試問題集から抜く)

一、次の問に幾つかの解答が示してあるが、最も適切と思うものの番号を○でかこめ。

1 作者杜甫は何時頃の詩人であるか。

(1)漢 (2)唐 (3)宋 (4)明 (5)清

2 この詩の季節は何時頃であるか。

(1)春の初め (2)春の盛り (3)晩春

(4)初夏

3 この詩の趣意はどこにあるか。

1 景色の美しさ 2 季節の移り変わり

3 郷里をなつかしむ 4 早く帰郷したい

気持

二、この詩を読んで左の問の各項の(A)(B)のうち、正しい方に○印をつけなさい。

1 (A) 第一句と第二句とが対句である。

(B) 第三句と第四句とが対句である。

2 (A) 時季は晩春である。

(B) 時季は盛夏である。

3 (A) 故郷での作である。

(B) 異郷での作である。

三、この詩はどんな心境でうたったものか、次のうち適当なものに○をつけなさい。

(イ) 老いゆく身をなげく。

(ロ) 同じ春が再びめぐりこないのをいたむ。

(ハ) 晩春の景色をたたえる。

(ニ) 晩春の別離を惜しむ。

(ホ) 故郷をなつかしむ。

(ヘ) 早く帰郷したい。

× × ×

○解答(答を出してから照合のこと)

一、1(2) 2(3) 3(4) 二、1(A) 2(A)

3(B) 三、(ホ) (六問正解は優)

## 練習の成果をテープに記念集録

堀内・D 小形雄岳

堀内支部D班では、中村岳郵、岳愛両先生の総伝祝と、開設二十周年記念の集いを4月11日土午後5時から中村宅教場に於て行いました。

前回にも行いましたが、今回も記念に一人一吟づつ、自分で吟題を選び吹込み、集録の上ダビング、全員に配布されました。他人の吟とともに、自分の吟をテープで聴くことによって、発声法等、吟法の研究に大きなプラスとなることは無論であるが、それよりも、集録されたテープが、班全員の思い出と、人生の記録として、価値ある宝物になると、大好評です。

テープ集録後は例によって懇親会へと移り、和気藹々のうちに、カラオケ等親睦を楽しみ盛會裡に終り家路につきました。

中村先生ご夫妻の、日頃の指導熱心に深く感謝しつつご紹介した次第です。

## ◎高齢者表彰追加

杉山初風(葉月)

永山洋泉(若)

豊後名城の旅

## 岡城址を尋ねて

堀内・D 五十嵐瑠璃子

弥生望月の頃、桜の便りにさそわれ、豊後名城めぐりの一人旅に出た。

滝廉太郎の「荒城の月」で有名な岡城址は、豊後の山々に囲まれた盆地の町、竹田市にある。幾つかのトンネルをくぐり、山紫水明の美人の里である。四面断崖の丘陵に築かれた規模雄大な平山城で、建武元年、大友氏の一族で、南朝の忠臣である志賀氏が、岡城と命名したと伝えられる。

城をめぐる秘話のうち代表的なものは、志賀氏最後の城主である親次の話であろう。天正十四年秋十月、わずか十八才の若武者ながら、全九州を席捲する島津の精鋭三万五千の大軍を城下に迎え撃ち、豊後の諸城が悉く陥るなか孤軍奮闘、よく島津勢を撃退したという、輝かしい歴史を持っている。

栄枯盛衰は一場の夢

想思恩讐悉く塵煙となる

幾多の興亡史を秘める名城も、今はたゞ古びた石垣に面影を残すばかりで、高樓の花の

裏も夢のまた夢、草むす荒城である、眼下に稲葉、白滝の激浪が岩をかむ断崖上の城址に佇めば、かつての若武者、親次が見はるかしたと同じ山なみが、豊後の空遠くかすみ、私に語りかける。

星移り物換るは刹那の事

歳月忽々逝いて還らず

いま岡城本丸址には「荒城の月」の碑と、滝廉太郎の像が立てられ、たゞ垣に残るかずら、松に歌う嵐が、ありし日の名城の興亡をものがたっている。

今夜荒城月夜の曲

哀愁切々当年を憶う

(入会)

- 648 佐藤美子 逗子市池子三ー十五ー十四 (若葉) (電)〇四六八ー七三ー五七二〇
- 649 高橋英子 横須賀市平作一ー十五ー十一 (真澄) (電)〇四六八ー五一ー二二〇六
- 650 中川美智子 逗子市桜山一ー十一ー三 (真澄) (電)〇四六八ー七一一五九二
- 651 望月雅男 逗子市逗子一ー十一ー十一 (真澄) (電)〇四六八ー七三ー九五三二
- 652 坂垣尚吾 横須賀市平作一ー十五ー十一 (真澄) (電)〇四六八ー五三ー五八九六